

【はじめに】

●口座 A のポジションを口座 B にコピーしたい場合、口座 A を host、口座 B を receiver と表記します。
host 口座に置く EA はデモ版でも正規版でも口座番号によらず動作します。

●DLL の使用が必須になっております。

EA とターミナルの設定の両方で DLL の使用を許可してください。

kernel32.dll：お使いの環境が Windows か Linux かを判別するため。

wininet.dll：口座認証や新着情報を取得するため。

●赤字の設定項目は EA を適用しなおすたびに必ず確認してください。

【NEO 使用に関する注意】

同梱の SuperCopierRelayServer プログラムを起動しておく必要があります。MetaTrader と同時に起動しておいてください。

【host 口座の設定】

feature：host に設定。

Signal name：receiver 口座と同じ任意の文字列に設定するのを忘れずに。

Target account (NEO 版)：コピー先となる receiver の口座番号を必ず指定。

host 口座に設定したとき、以前に同様の Signal name を設定したことがある場合、競合確認のアラートが出ます。

同様の Signal name の host と競合しないようにお知らせする機能です。

口座縛りのある EA やデモ専用の EA も host 設定であれば任意の口座に適用可能です。

【receiver 口座の設定】

feature：receiver に設定

Signal name：シグナルの名前。自由に設定可。全く同じ名前で設定された host のポジションを拾う。複数の口座からコピーしたいときにはそれぞれ host ごと別々に設定しないと意図しない挙動になり大損こきます。

Host account number(クラウド版)：どの口座番号からコピーするか必ず設定。この口座番号かつ Signal name の名前で設定された host 口座をコピーする。

Target account (NEO 版)：コピー元となる host の口座番号を必ず指定。

Slippage：一般的な設定

Magic number：一般的な設定

Lot tweaks : ロットの設定方法

fixed: 固定。常に Fixed lots の設定でエントリー。

compound: 口座資金に比例して Lot を増やす。いわゆる複利設定。パラメータで設定した値の口座残高あたり 0.01Lot でエントリー。

ex) 「0.01lot per balance」=2000 の時、残高 2000 につき 0.01Lot。残高 10000 なら 0.05Lot。

lot copy: host 口座の lot に Lot ratio パラメータの値を掛け算した lot でエントリー。

ex)ratio=3 なら 3 倍、0.5 なら半分。

proportional: host 口座の残高に対する Lot の比と同じ比でエントリー。言い換えれば、host の口座残高に対して receiver 口座残高が x 倍なら lot も x 倍になる。Lot ratio パラメータの値を最終的に掛け算してエントリーするため、リスクに応じて調整ができる。

Grace period : host 口座がポジションを持ったタイミングから指定した秒数以上経過したものはコピーしなくなる。10 で設定された場合、10 秒以上前のポジションはコピーしない。遅れたタイミングでエントリーしないためのセーフティーネットとなる。9999999 などの値にすれば大昔のポジションもコピーする。

CounterTrading(オプション): 反対売買機能。host 口座と逆向きのポジションでエントリーするが、TP,SL は設定されない。(TP,SL の希望があれば、仕様をすり合わせたいのでご連絡ください。)

Copy-Modify TP/SL : host 口座で TP,SL が更新された場合、反映する。

Copy IFD : 予約注文もコピーするかどうかの設定。false でも、host の予約注文が引っかければコピーされるため **false 推奨!!!** true にすると、指値に引っかけたタイミングによっては 2 重にポジションを持つ可能性がある。

What's New : SuperCopier の更新情報、新着情報があれば通知してくれるようになる。

MT notification : MetaTrader の通知機能を使って、本アプリケーションの重要な通知を飛ばす設定。

Mail notification : MetaTrader 標準のメール機能を用いて、SuperCopier が終了した際などにアラートを送信する機能。重要な警告のみ送信します。特にライセンス版、クラウド版がメンテナンスやエラーなどで停止した場合に通知を受け取れるよう、当設定を使い、MetaTrader の設定でメールを送るよう設定することを推奨します。

Log detail : MetaTrader のログに詳細に記録を残す。不具合が生じた際に true にしてログを残すようにお願いすることがありますが、普段は false で構いません。

delay: 動作を安定させるために設けている遅延。ミリ秒単位で指定する。1 以上で設定すること。小さくすればするほど取引のコピーは早くなりますがコンピュータのリソースを多く消費する。小さく設定した場合、コンピュータのスペックによっては予期しない動作になる可能性があります、自己責任でお願いします。

通常版、ライセンス版の場合⇒100 が推奨

クラウド版⇒固定

NEO⇒10 が推奨

Symbol Converting : FX 業者ごとに CFD のシンボル名が異なることがある場合に修正する。receiver 側のみ設定すればよい。

Symbol Mapping は非常に間違いが多い設定項目です！

Symbol Mapping の欄に何を入力しても意味がありません！

その下の Host と Receiver について、対応させるように入力してください！

例1) host 口座は XAUUSD だが receiver 口座は GOLD の時
⇒ Host①=XAUUSD Receiver①=GOLD に設定

例 2) host 口座は XTIUSD だが receiver 口座は Oil-Mar など先物の時
⇒ Host②=XTIUSD Receiver2=Oil に設定

末尾に"#や".std"など余計なものがついているタイプのものについては自動的に判別できるようにしているため、そういったものはわざわざ SymbolMapping の設定をしなくてもよい。

また、気配値にシンボルがなくても取引するときに自動で追加してくれるので手動でやらなくてもよいです。

【1 対多、多対 1 のコピーのための設定】

●複数の host からコピーしたい場合

host①と host②から receiver にコピーしたい場合、host①の Signal name を”signal1”、 host②の Signal name を”signal2”など、異なる設定。

receiver には複数のチャートを表示し、それぞれに EA を適用。Signal name をそれぞれ host に設定した文字列にすれば OK。それぞれ異なる Lot の設定にもできる。

●1 つの host から複数の receiver にコピーしたい場合

host には一つだけ EA を設定すればよい。それぞれの receiver 口座で EA を receiver として設定すればよい。

●NEO の場合

コピーする組み合わせごとに host、receiver を設定する必要がある。

【そのほか注意】

・取引をしない場合、自動取引ボタン、EA の設定画面において自動取引にチェックが入っているかの 2 点を確認し、チャート右上のマークが正常であることを確認ください。

・ Manual Close Reflection 機能を使っている場合、host も自動売買を有効にする必要があります。

・ Cloud 版以外は、host と receiver は同一の PC 内に同居させなければいけません。

・ host 口座は制限がないため、口座制限版の EA をほかの口座に host として設定してご利用いただけます。

・ host も receiver も必ず 1 チャートのみ適用してください。1 チャートだけで全通貨取引します。複数適用するとポジションが重複する可能性があります。

・ ポジションを取った後にマジックナンバーなどを変更するとクローズ機能が働かなくなります。設定を変更するときにはポジションを解消するようにしてください。

・ ご希望の方には、万が一重大なバグや品質向上アップデートがありましたらお知らせします。ご希望でしたらご連絡ください。